

カルメル

霊性センターニュース



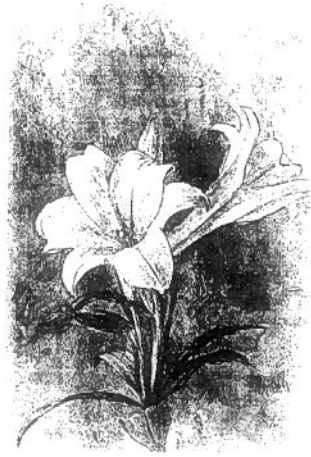
2015年7月

311号

目次

心の泉	1
カルメル会の企画案内	1 5
東京	1 6
京都	2 0
名古屋	2 5
北陸	2 6
諸所の企画案内	3 1
年間購読(郵送)のご案内	4 2
編集後記	4 3

心の泉





第二巻

第十章 神の恵みに感謝する

5 感謝の心

どんな小さなことでも、神に感謝しなさい。そうすれば、より大きな恵みを受けるに足る者となる。どんな小さな賜物も貴重なものだと考え、取るに足らないように見えるものも、小さいとか卑しいとか考えるな。いと高きお方から与えられるものが、小さいものであるはずはない。神が、苦難と患難とをあなたに与えたとしても、それを感謝して受けなさい。私たちの上にゆるされることは、すべて、私たちの救いをはからうみ旨から出ることである。神の恵みを保とうとする人は、それを受ける時に感謝し、それを取り去られる時に忍耐し、新たに与えられるように祈り、それを失わないようにへりくだって警戒しなさい。

第十一章 イエスの十字架を愛する人は少ない

1 十字架は重い

イエスの天の国を愛する人は多いが、その十字架を担おうとする人は少ない。慰めを望む人は多いが、苦しみを望む人は少ない。イエスと共に食卓につきたい人は多いが、イエスと共に断食する人は少ない。キリストと共に楽しむことを望むが、キリストのために何事かを忍ぼうとする人は少ない。パンを裂くまでイエスに従う人は多いが、受難の杯を共に飲もうとする人は少ない。多くの人はその奇跡に感嘆する。しかし十字架のはずかしめまで従う人は少ない。多くの人是不幸が来ないかぎりイエスを愛し、慰めを受けているかぎり彼を祝する。しかしイエスが姿を隠し、しばらくの間でも彼らから離れ去ると、不平を言い、ひどく落胆する。

聖テレジア生誕 500 年を祝って



日々神と親しく生きる - 7月 -

神の偉大さを眺めてください

そうすれば
自分の姿が見えてきます

自分の泥土を見つめているより
神の慈しみを眺める方がよいのです

～聖テレサ～

うっとうしい梅雨はいつあけるのでしょう。でもこの時こそ自然界では草木が勢いよく成長します。私たちも「うっとうしい」とこの季節にめいることなく、日々信仰を着実に深めたいものです！

それには自分自身のみじめさ、弱さを眺め、状況の変化にうろたえ嘆くとき、聖テレサの言葉に耳をかたむけてみましょう。「私を信じてください・・・神の偉大さを眺めてください、そうすれば自分の真の姿が見えてきます。」小さな泥に覆われた自分を見つめるより、そんな自分を愛していてくださる神の慈しみを眺めなさい。そしてその慈しみの愛に信頼し、委ねて生きるのですと「霊的な人々の母テレサは」言います。

7月、今月の典礼には随所ずいしょに命の水をくみとるために祝日が散りばめられています。16日はカルメル山の聖母の祝日、日本での祭日20日（海の日）は聖エリアの祝日です。22日は聖マリア・マグダレナ、26日はマリア様を産み、育てられた両親聖アンナと聖ヨアキムの祝日、29日はベタニヤのマルタの祝日。ガリラヤからエルサレムへの旅の途中、疲れたイエスと弟子たちを「もてなす」マルタ。「マルタ、あなたは多くのことに思い悩み、心を乱している。必要なことはただ一つ」と諭されたイエスの言葉を思い起こしたいものです。

伊従 信子 (いより のぶこ)
ノートルダム・ド・ヴィ

人を赦す (21)

くのり
九里 彰

前回、ポルポトの犠牲者であったクレール・リと、イエス・キリストの赦しの違いを指摘した。彼女が、自分たちは彼らを赦せないが、御父は彼らを赦すようにと嘆願しているのに対し、キリストは、初めから自分を裏切る者、十字架につける人々を赦しており、まさに彼ら—それは私たち自身でもある—のために十字架に上げられ、彼ら—また私たち—の罪の赦しを御父に願っているのである。

いずれにせよ、クレール・リの赦しは、人間の赦しの限界を示している。「私たちは赦せないが、父よ、彼らを赦してください」と祈ることによって、神の無限の赦しの中に自分たち自身をゆだねているとも言えなくもまい。「赦せないのですが、父よ、あなたのように、彼らを赦す心を私たちにも与えてください」と。

最も大切なこととしてわたしがあなた方に伝えたのは、わたしも受けたものです。すなわち、キリストが、聖書に書いてあるとおりにわたしたちのために死んだこと、… (1 コリ 15・3-4)。

この「ために」は、私たちの罪の贖いのためという目的と、私たちがキリストを十字架につけたという原因の両方を意味している。自分を迫害し、死に追いやる人々のために (目的) 死ぬということは、人間的に考えれば、馬鹿げている。だが、十字架の死は、まさにこの愚かな死を意味している。

正しい人のために死ぬ者はほとんどいません。善い人のために命を惜しまない者ならいるかもしれませんが。しかし、わたしたちがまだ罪人であったとき、キリストがわたしたちのために死んでくださったことにより、神はわたしたちに対する愛を示されました。(ロマ 5・7-8)

キリストの愛は、限界を絶えずもうける人間の自己中心的な愛をはるかに超えている。宇宙大に広がる神の無私の無限の愛は、キリストの十字架の死によって示されたのだということである。

十字架の聖ヨハネ こぼれ話 (93)

ホセ・ヴィセンテ・ロドリゲス o.c.d.

生ける神殿のため

十字架のヨハネは、ドゥルエロやバエサやグラナダやセヴィリアなどで、修道院を建て、創立し、整えるために、大変よく働きました。そのためすっかり、これらの仕事のエキスパートになっていました。

セゴビアでは寒さや雪を些細なこととして働きました。彼の目下の一人は、聖なる院長が、「修道者たちに必要なものを与えるために、一生懸命であるのに気づきました。それらのものに事欠かないようにするため、〈生ける神殿〉と呼んでいた修道者に必要であるなら、修道院の仕事を止めるように言いました」。

ずる賢い騎士であることをやめた騎士

彼は、騎士であることと、ずる賢い者であることの、どちらを放棄したのでしょうか。

もう一度、記録係であった人の良いマルティン修道士に登場してもらいましょう。ヨハネ修士とマルティン修士の二人がバエサに一緒にいた時、その町にバエサ生まれの騎士がいました。彼はマルティン修士の親族であったように思われます。マルティン修士は、彼をためらうことなく「ずる賢く破廉恥な人間」と見なしていました。ある日、彼は、マルティン修士と話しながら、彼に「温和な聴罪師」探してくれるよう頼みました。マルティン修士は、聖人と話をし、この騎士がどのような人物であるか、少し説明しました。「くだんの聖人は、告解するのをその場で待つように告げました。それから降りてゆき、告白を聞きました。その告解の結果、くだんの騎士は黙想し、聖人の教えに夢中になり、夜となく昼となく、自分の意識状態を聖人に伝えるために修道院に、またそこで行われていた黙想会にやってきました。

さらにある日、「茶色の衣と剣なしで出かけるために、修道服に着替える許可」を与えてくれるよう、聖人に頼みました。聖人は、「武器を身につけていることと、靈魂に有益である祈りと関わることは」、一致しないと彼に言いました。「その後、くだんの騎士は、模範的にまた隠遁的に生涯を送った」と、マルティン修士は話を結んでいます。

結局、彼はずる賢い者であることも、騎士であることもやめたのです。

「この人は、このようなことをどこから得たのだろう」(マルコ 6, 2)。

イエスは、「弟子たちを連れて、故郷にお帰りになった」、ガリラヤでの宣教活動を初め、また、奇跡を実行された後、幾人かの若者を弟子として引き連れて、故郷に帰還した、それは、最初で最後のものとなったナザレ訪問でしたが。住民たちは、今や、名もないナザレの「大工」、つまり、近所の何でも屋で、母マリアと自分が糊口をぬぐう日銭を稼いでいた男を、目の前にしているのではありません。弟子たちを従えて、耳目をそばだてさせる色々な評判を背にする男なのです。イエスは、ユダヤの慣習を守る敬虔な信仰者として、安息日には、シナゴグの礼拝に出席しています。当時の慣習では、旧約聖書の一節の朗読の後、会堂長自身か、あるいは、彼が指名する男子の一人が、読まれた箇所に基づいて神への信仰を鼓舞する勧告をすることになっていました。この安息日には、この役を、うわさの男、イエスに任せただけです。会堂中の人の眼がイエスに注がれています。

「イエスは教え始められた。多くの人々はそれを聞いて、驚いていった。この人は、このようなことをどこからえたのだろう。この人が授かった知恵と、その手で行わるこのような奇跡はいったい何か」。人々が驚いたイエスの教えの知恵。その「知恵」とは何だったのでしょうか。「マルコによる福音」は、詳細には報告してはいません。多分、ここでイエスの会堂でのお話の内容を書き留めなかったのは、人々を驚かせるのが、そのとき会堂でなされたお話にのみ限定されるのではなく、イエスの十字架の死に至るまでの一生、その言葉と行動すべてなのだ、と言いたいのではないかと思います。一つ、言えることは、ここで人々が驚いたイエスの知恵は、博学、強記、知識の蓄積ではない、聴く者たちに真実な慰めを与えるもの、自分自身の、また、神との関係の真実な認識に導くものであったことです。その知恵、権威ある新しさが、どんなものであったかを、垣間見せてくれるヒントを与えるのは、聖パウロがコリント人への第一の手紙で書いていることです。「十字架の言葉は、滅んでいく者にとっては愚かなものですが、わたしたち救われる者には神の力です。…召された者には神の力、神の知恵であるキリストを宣べ伝えているのです」(1コリント 1, 18.24)。イエスがナザレの会堂で語られた知恵、それは、確実に、神の知恵、十字架の上に輝き出る知恵に連なっているものであるのです。そして、真実な慰め、より真実な幸福を目指す意欲を注ぎ入れる知恵です。この知恵がどこから来るのか、それはわかりませんが、どこに導きかは、はっきりとわかっています。ルカ渡辺幹夫

年間第15主日 (B)

みことばのひびき

(マルコ6：7～13)

マルコの福音で、私たちはイエスが弟子たちを派遣するのを見ます。また、福音は一人ひとりのキリスト者が弟子になるだけでなく、使徒になるように呼ばれていると告げています。弟子は自分の生活の中でイエスの教えを聞き、受け取り、運ぶ者です。弟子はイエスに従い、イエスを見習い、第二のイエスになります。使徒は従う者であるだけでなく、宣教する人です。神からのメッセージを携えて、大使や使節のような使命に送り出されます。

洗礼を受けた人は誰でもこの使命、この召出しを持ち、他の人たちと積極的に信仰を分かち合います。私たちは主と共に人々が自由を見出したり、回復したりする助けをする働きをします。肉体的な病や、心理的な病、感情的な病を癒す助けをします。第二にイエスは私たちに最大の自由と最小の重荷を持って生活するように教えています。使徒たちは、他には何も持たずイエスから受けたメッセージだけを持って出かけていくように言われました。使命の働きを妨げとなるようなこの世の物質的なものは身につけているべきではありませんでした。イエスは彼らの使命において貧しさと無を強調されます。私たちは皆、過去や現在の状況からくる重い荷物を背負っています。私たちの頭の中にある思いわずらいや心配事は私たちに無力にし、私たちが豊かに生きたり、生活を富ませたりするのを妨げます。イエスご自身がお手本です。物質的に貧しく、ご自身の住いをお持ちになりませんでした。必要なものを何でも持つことができたのに、そうされませんでした。貧しく生まれ、貧しく死なれ、貧しい生活をされました。しかし、イエスは私たちそれぞれが神のみ旨に従った呼びかけを持っていると言われます。私たちは皆、神の子どもになるために相応の生活をするようにイエス・キリストを通して任命されているのです。

私たちは、神の独り子キリストが平和と愛の福音や、永遠の救いのメッセージを人間の助けを受けずに全世界に広めることができることを知っています。しかし、キリストは福音宣教するのに、「よい知らせ」をもたらす仲間の人たちを送るというより弱い、より人間的な方法を選ばれました。この選択は、キリストが用いることもできた超自然的な方法を使うよりも、神の愛と弱い人間性の理解をよりよく、より効果的に示しました。今日、私たちは皆自分の家族や、友人、同僚の前に信仰を広め、守るために、神と教会によって送り出されていることを知っています。また、私たちキリスト者の義務は容易いものではないと思います。私たちはこの地上でイエスの代わりになるのですから、多くの人たちや、私たち自身の共同体から拒絶されることを覚悟していなければなりません。しかし、私たちはよい仲間ですから幸せに感じるべきです。私たちは来るべき栄光の望みのうちに、本日同じ困難を共にしているキリストにおける兄弟姉妹とみなされるでしょう。大切なことは、主の声を絶え間なく聞くことです。天国への道に置いて頂いていることを、今日心から神に感謝し、私たちが奉仕する全ての人たちが私たちを通して御国の意味を真に悟るということを心に留めましょう。

(Sr. Paulina)

「飼い主のいない羊のような有様を深く憐れみ、いろいろと教え始められた」
(マルコ 6, 34)。

先日のある新聞のコラムに「結婚相手の男性のイクメン度」との表現を、近い将来に結婚をと考えている女性への勧めの中に見つけました。それは、相手の男性のイクメン度、イケメン度ではありません、イクメン、つまり、子育てに積極的に関わり、子供を可愛がる男性の育児能力を見定める方法を薦めるものでした。その方法とは、デートの時に、突然な計画変更を提案することです。どうも、男性は、自分の予定とか、計画の突然の変更うまく対応できない、前もって建てた計画に固執したり、不快感を表し機嫌を悪くしたりする傾向にある、のだそうです。小さい子供と共に生活するのならば、突発的出来事に突然の計画変更を強いられる場面には多々遭遇する、このような場面を平静に受け入れ、対処する方法を冷静に見つけてゆく、むしろ、新しいチャンスとして生かしてゆく能力を見定める、これがイクメン度を測る理由なのだそうです。

さて、今日の福音の場面でのイエスは、群衆の行動によってご自分の計画の突然の変更を強いられています。イエスは、ある日、弟子たちを呼び寄せて、二人ずつ組にして遣わされた、その数日後、使徒たちはイエスのところに戻ってきて、自分たちが行ったことや教えたことを残らず報告した。この時、イエスは、弟子たちに、人里離れたところへ行き、しばらく休むことを、言ってみれば、休暇を取ることを勧告しています。多くの人々は彼らが出かけていくのを見て、それと気づき、すべての町からそこへいっせいに駆けつけ、彼らより先に着いたほどでした。ここに、イエスは、その予定を変更することを余儀なくされる事態が起きました。「イエスは船から上がり、大勢の群衆を見て、飼い主のいない羊のような有様を深く憐れみ、いろいろと教え始められた」。イエスは、突然の強いられた計画の変更を受け入れ、むしろ、活用しています。このときのイエスの内面を、「飼い主のいない羊のような有様を深く憐れみ」と書いています。「深く憐れむ」、これは、「切ない思い」とも言えます。わずらわしい関係、断ち切って無視してしまえば、どんなに気が楽になるだろう、しかし切ることはできない、切ってしまったら相手は生きてゆけない、自分自身の中でも何か壊れて、自分の人間性の崩壊が始まる、と予感させる、そのような絆で結ばれた気持ちなのです。

ルカ渡辺幹夫

年 間 第 十 七 主 日 (ヨハネ6:1-15)

今日の福音は、イエスがガリラヤ湖の向こう岸に渡られたとき大勢の群衆が後を追って付いてきた様子を伝えることで始まっています。イエスが病人になさったしるしを見たからです。

このイエスについてきた五千人もの群衆に食べ物を供された話はマタイ、マルコ、ルカ、ヨハネの四つの福音書のどれにも記されています。まず、イエスはその大勢の人々を草の上に座らせるようにと弟子たちにお命じになりました、あたかももう食事の用意が出来ているかのように。それからイエスは差し出されたパンを取り感謝の祈りを捧げてから座っている人々に分け与えられました。魚も同様になさいました。こうして五つの大麦のパンと二匹の魚を全員に供されました。その残ったパン屑は十二の籠が一杯になるほどだったのです。この奇跡はイエスの神としての深い内的、霊的な姿を暗示しています。いのちのパンであるイエスはイエスに従っている人たちを常に養っておられます。この奇跡には聖体祭儀の恵みが溢れています。過ぎ越しのときにマナが与えられたことを祝うように、この奇跡によってイエスはいのちのパンが与えられる喜ばしい出来事を祝われます。この奇跡は人々に信仰の恵みを与え、人々の信仰の歩みを導きます。人々はイエスのなさったことを見て、直ちにイエスを自分たちの王にしようとしませんが、イエスは山に退かれてしまいます。当時の人々の真の救い主に対する思い、見解はイエスが真実にどのような方であるかを理解し把握するには不十分だったのです。

この奇跡を通して、イエスは次にイエスが与えて下さる天的な食べ物であるご聖体について前もって人々の心を準備したいという意図を持っておられたかもしれません。しかしそれ以上にイエスがこの奇跡を行われた動機は人々に対する憐れみと同情でした。イエスは、弟子たちともども人々がどんなに空腹であるかをよくご存知でした。それにも関わらず群衆は自ら進んでイエスについてきたのです。イエスはその労苦を何とかして解消したいと思われました。群衆の一部はイエスに敵対する者であったかもしれませんが、イエスには差別する心はありません。全員に対し同情の眼を向けられています。この奇跡は今を生きるわたしたちの日常生活の細やか出来事についても、このパレスチナの人々に対してと同じ心遣いをして下さっているイエスの思い、神の心配りに気付かせます。イエスはどんな時でもいつでもイニシアティヴを取ってわたしたちを守りその必要を満たしてくださっているのです。これを確信し、イエスの現存を求め、イエスを探し、イエスの傍らにいつも留まりたいと望むことが大切です。今日の福音でパンと魚を恵まれた群衆のように、わたしたちは皆、神から何一つ与えていただくにはふさわしくない存在です。しかし現実にわたしたちがいただいているのは神の惜しみない愛と慈しみ、恵みの無報酬の贈り物です。心から感謝して喜んでいただきましょう。

(Sr. Paulina)

先頃、ロボットのお葬式なるものをテレビで見て呆気にとられ、複雑な思いを抱えて考え込んでしまいました。

これまでに、例えばお寺で行われる針供養や、人形供養祭の様子を目にしても、日本人の細やかな心模様を偲ぶこそすれ、違和感を覚えたりはしなかったのですが、壇上にたくさんのロボットを並べ、参列者がきちんと坐ってお坊様がお経をあげるロボットのお葬式は、かなりの衝撃であったのです。

15年ほど前に、アイボという名のペットロボットが発売され話題となりました。実物を見たことはないのですが、金属製なのでしょうか、子犬の形をしていて四本足でギクギクと可愛らしく歩き、簡単な会話のやりとりも可能といえます。更にそのやりとりも、買った（飼った）人に次第に馴染んだものとなっていくそうです。

ロボットの仕組みといったものの知識は私は皆無ですが、玄関を開けると「お帰りなさい」と人工ペットに声をかけられ出迎えられるのは、実際どんな感じなのでしょうか、正直のところ想像が付きません。

このアイボが制作時から15年余りの年月を経て、やはり機械なので壊れるところもあり、それを往年の技術者たちがボランティアとして名乗りを上げて、修理に携わっているという話でした。アイボという同一の機種であっても、人に所有されることで一つとして同じものとはなくなり、それぞれに持ち主（飼い主）の思いが厚くこもっていることが、修理をしていて感じられるという技術者の言葉は、大変に興味深くありました。

これは長年使いこんだ職人さんの道具とは、きっと違ったものなのでしょう。

テレビ画面には、修理を終え家に帰ってきたアイボを「○○ちゃん！」と名を呼び、抱き上げ頬ずりし涙を浮かべて喜ぶ持ち主の姿があり、見ていて胸に迫るものを誘われました。

家族同様ではなく、家族なのだと言います。見ている私には、もしかしたら家族以上のものではないかと思わせるものがありました。

持ち主は独り暮らしの老人、二人暮らしの夫婦、身体に障害を持つ人など様々ですが、とにかくアイボはかけがえのない同居者であり、一心に交わす愛情の絶対的な対象なのです。

アイボは壊れ方がひどく修理不能となると、もはや身を使い切ったこととなり、解体してまだ使える部品を他のアイボのために取り出す作業をして、ここぞくだんのお葬式となるのでした。

ロボットの発展はめざましいといいます。私が見聞きしているものでも、掃除をするもの、介護をするもの、宇宙飛行士と一緒に宇宙へ行くものと多彩です。そんな中、コミュニケーションの分野にもロボットの進出は、当然であり、必然なのではないでしょうか。事実アイボのおかげで、認知症の人が笑顔を取り戻すのを画面に見て感動しました。アイボを可愛がることで、優しい心、共感する力、相手を励ます力など、自分の内のコミュニケーション能力がよみがえるのだそうです。

アイボのお葬式を見た私は今、どうしようもなく深く深く考え込んでしまっています。心の中の何かが解けません。

私たちは幼い日、ままごと遊びをしてご飯を作ったり、赤ちゃんの世話をしたりして、おませなお喋りを楽しんだでしょう。お気に入りの人形に秘密を打ち明けたり、内緒話をしながら一緒に寝たりもしたでしょう。確かに現実の生身の人間でなくとも、親しい交わりはあるのです。ただ、アイボと人間との交流を見た時、それとこれとは何かが違うと思いました。

アイボに愛情を注ぐ人たちの様子に、思わず胸を熱くするのですが、私の心の中には、或る重苦しさが覆いかかるのです。

とても寂しい。でも寂しさだけではなく、もっともっと底深く悲哀というか、もっと言えば絶望に近いもの。私の内の何かが侵されるような、そして同時に私が何かを犯しているような重苦しいもの。加害も被害も私自身にはかならず、でも確かな正体は掴めない。

コミュニケーションとは何なのでしょう。人工知能は人の心に何をもたらすのでしょうか。人の心は人の知能に何を求めるのでしょうか。アンドロイドに恋をするSFはもう空想に耽る快樂とはなり得ないのでしょうか。

私は今無力でお手上げ状態です。

アイボのお葬式・・・お坊様の読経・・・ 私も祈りたいです。

主よ あなたをおいて誰のところへ行きましょう

主よ 私たちはいずこへ行くのでしょうか

主よ 私たちは何者なのでしょうか

主よ 憐れみをもって急ぎ助けに来てください

いのちの言葉 7月

勇気を出しなさい。わたしは既に世に勝っている。

(ヨハネ16・33)

イエスが最後の晩餐で弟子たちに向けた別れの挨拶の最後は、このみ言葉でしめくられています。イエスは、地上を後にし、御父のみもとに帰ろうとしています。弟子たちはイエスの業を引き継ぐためにこの世に残ります。イエスと同様に、弟子たちにとっても、その使命は難しいものです。イエスは、彼らが立ち向かうべき困難や試練についてよくご存知でした。事実、「あなたがたには世で苦難がある」とおっしゃいました(ヨハネ16・33)。

イエスは、最後の晩餐に集った弟子たちにこのような言葉をおっしゃったと同時に、世紀を越え、イエスに従おうとするあらゆる時代の弟子たちをも念頭に置いておられます。そこには私たちも含まれています。

私たちの人生の道筋には、多くの喜びがありますが、「苦難もある」というのは否めない事実です。将来への不安、病気、先行きの分からない仕事、貧しさ、自然災害、戦争が引き起こす苦しみ、DVや国家間の争いなど。さらには、キリスト者であるがゆえに直面する苦難もあります。福音の教えに従うために遭遇する日々の闘い、神のメッセージに無関心な社会を前に味わう無力感、また迫害とまではいかなくとも、教会が理解されなかったり、教会に抵抗しようとする人々から受ける軽蔑や侮辱などもあります。

しかし、自らが苦難を体験し、それをよくご存知のイエスご自身がこうおっしゃっているのです。

勇気を出しなさい。わたしは既に世に勝っている。

イエスは、一見矛盾と思われるほどの確信を持って、はっきりこのようにおっしゃいました。しかし、そうおっしゃったあと間もなく、イエスは捕らえられ、鞭打たれ、罰せられ、辱めを受け残酷に殺されました。では、なぜイエスは、「わたしは既に世に勝っている」などとおっしゃれたのでしょうか。

イエスの勝利は、一体どこにあるのでしょうか。それは、言うまでもなくイエスの復活の内です。死すらも、それに打ち勝つことはできませんでした。イエスの復活は、私たちにもその勝利に与らせることができるほどの力強い勝利です。復活のイエスは、私たちの間に来られ、私たちをご自分と共に満ち満ちたいのち、新たな創造にまで導き入れてくださいます。

それなら、何も恐れることはないとおっしゃったイエスの招きも理解できます。

勇気を出しなさい。わたしは既に世に勝っている。

私たちが、この一ヶ月間生きようとしているみ言葉は、私たちの心を信頼と希望で満たしてくれます。自分の置かれた状況がいかに関難で、乗り越えがたいものであっても、その関難は、すでにイエスご自身が、ご自分のものとして背負い、乗り越えてくださったものだからです。

私たちには、イエスのような内面的力が備わっていないとしても、イエスご自身が私たちと共に生き、闘ってくださいます。ですから、私たちはイエスにこう言うことができるでしょう。「もし、あなたがこの世に勝っておられるなら、私のこの『苦難』にも勝つことができになるでしょう。今、私が立ち向かおうとしている関難、私の家族や職場の同僚が立ち向かおうとしている関難は、あまりにも大きく、乗り越え難いものを感じられます。くじけてしまうかもしれません。でも、あなたが私たちの間にいてくださるなら、苦難にも立ち向かう勇気と力が与えられ、私たちも『勝利者』となれるでしょう。」

しかし、だからと言ってキリスト者の生活は、何でも順調にうまくいくというわけでは決してありません。イエスは、まさに苦しみ、不当に見捨てられ、死に至る悲劇の中で勝利を治めました。イエスの勝利は、愛ゆえに苦しむことを知っている人、死後の命を信じている人の勝利です。

時には、私たちも、完全な撲滅を目にするには、イエスや殉教者のように、天を待つ必要があるかもしれません。しかし、私たちはしばしば、天国について語ることを躊躇します。天国について語ることは、勇気をもって関難に立ち向かうのを逃避することのように感じたり、あるいは、不正義と戦わない口実のように受け取られてしまう恐れから来るのかもしれません。しかし、天に希望を置き、復活を信じることこそ、試練の中にいる人を支え、あらゆる逆境に立ち向かっていく力となります。また、最後に残るのは、憎しみに打ち勝つ愛、死を滅ぼすいのちなのだという確信につながります。

ですから、いかなる関難を前にしても、私たちの内に、そして私たちの間におられるイエスへの信頼を新たにしましょう。たとえ、それが個人的な苦難、身近な人に起こる苦しみや世界のニュースを通して知らされる災難であっても、イエスは「既に世に勝って」おられます。そのイエスが、私たちをご自分と同じ勝利にあずからせ、私たちのために場所が準備されている天国への道を開いてくださるのです。こうして、私たちはあらゆる試練に向き合う勇気を得、イエスのうちに全ての関難を乗り越えることができるでしょう。

ファビオ・チャルディ神父

*2015年度の「いのちの言葉」は、フォコラーレ本部のファビオ・チャルディ神父によります。
いのちの言葉は聖書の言葉を黙想し、生活の中で実践するための助けとして、書かれたものです。

●お知らせ いのちの言葉の集い

関東 7月12日(日) 13:30~ 神奈川 カトリック藤沢教会 204号室

(週日に、吉祥寺、調布、鷺沼、戸塚、厚木、千葉、浦和、鹿沼でも)

中部 7月26日(日) 14:00~ 瀬戸市本郷町東・喫茶室「遊夢」

近畿 7月12日(日) 13:30~ 大阪 カトリック香里教会

長崎 7月26日(日) 14:00~カトリック浦上教会 要理教室

連絡先:フォコラーレ 03-3707-4018/03-5370-6424

E-mail:tokyofocfem@ybb.ne.jp

ホームページ:フォコラーレで検索 <http://focolare.world.coocan.jp/>

ヘンリ・ナーウエンの 旅路の糧（189）



「旅路の糧」の訳は終了しました。以下はナーウエンの巻頭言の続きです。

この本を書こうとした時の逸話（3）

スーザン・ブラウンは、すべての考察を編集し、繰り返しや重要でない考えやよく書けてない文章を削除し、自然な順序に変えてくれました。ジニー・ホールは、各考察のタイトルをつけるのを手伝ってくれ、目次を作ってくれました。ウェンディ・グリアは、最後の校正をするためにたくさんの時間を費やしてくれました。彼らなしには、この一年の本は、決して完成しなかったことでしょう。私は、彼らの寛大な援助に心から感謝申し上げます。

この一年の本を書くことは、ほんとうに冒険でした。けれどもそれは、孤独における冒険でした。それは、自由な時間をたくさん必要としたばかりでなく、静かな平和に満ちた空間を必要としていました。ハンスとマーガレット・クルイットワーゲン、ロバート・ジョナスとマーガレット・ブリットジョナス、サラ・デーリング、ペギー・マクドネルは、オークビルやオンタリオやウォータータウンやマサチューセッツやピーバックやニュー・ジャージーの彼らの家を、そのような空間を見出すために提供してくれました。彼らの友情や寛大さ、またほとんどの時間、喜んで私を一人にしてくれたことなどは、はかりしなれない贈り物でした。

この本を読む皆さんが、ご自分の旅と私の旅の間に多くのつながりを見出し、信頼と、希望と、そして何よりも常により深い愛をもって、ご自分の人生を生きる新たな力を見出すことができるよう、希望しています。

最後の祈り

「どうか、御父が、その豊かな栄光に従い、その霊により、力をもってあなたがたの内なる人を強めて、信仰によってあなたがたの心の内にキリストを住まわせ、あなたがたを愛に根ざし、愛にしっかりと立つ者としてくださるよう。またあなたがたがすべての聖なる者たちと共に、キリストの愛の広さ、長さ、高さ、深さがどれほどであるかを理解し、人の知識をはるかに超えるこの愛を知るようになり、そしてついには、神の満ちあふれる豊かさのすべてにあずかり、それによって満たされるように。私たちの内に働く御力によって、私たちが求めたり、思ったりすることすべてを、はるかに超えてかなえることのおできなる方に、教会により、またキリスト・イエスによって、栄光が世々限りなくありますように、アーメン」（エフェ 3・16-21）。

（完）

九里 彰訳

カルメル会の企画案内



上野毛霊性センター ～2016年3月

黙想企画 ** 上野毛聖テレジア修道院 (黙想) **

1. 日帰り黙想会 13時30分 (※10時)～16時

[聖人たちを支えた神のことば] 福田正範神父

“聖書を知らないことは、キリストを知らないことである”と聖ヒエロニモは言いました。第二バチカン公会議においても次のように語られています。

「すべてのキリスト信者は、しばしば聖書を読んでキリストを知る素晴らしさを学ぶように強く特別に奨励する」(啓示憲章6章25) 信じる人々を支えた神のみことばの光に照らされますように……。

2015年

7/10 (金)、7/23 (木)、9/3 (木)、9/18 (金)、10/30 (金)、
11/5 (木)、11/20 (金)、12/3 (木)、12/18 (金)

2016年

1/15 (金)、1/28 (木)、2/12 (金)、2/25 (木)、3/11 (金)

*申し込みは、3か月前より受付致します。

※企画の一日黙想会は、都合により、半日の日帰り黙想会に変更になりました。
午前中を個人黙想として静修をご希望の方は午前10時～ご利用が可能です。

2. 奉献生活者のための黙想会

8月 1日 (土) 18時～	8月10日 (月) 朝	福田正範神父
8月12日 (水) 18時～	8月21日 (金) 朝	福田正範神父
10月13日 (火) 18時～	10月22日 (木) 朝	福田正範神父
12月27日 (日) 18時～	2016年1月5日 (火) 朝	福田正範神父

3. 青年黙想会(男女) 福田正範神父・カルメル会士

テーマ「キリスト者の奉献」

11月13日 (金) 16時～15日 (日) 16時

4. 召命黙想会(男女)

~~9月25日 (金) 16時～27日 (日) 16時~~ (中止になりました)

5. 特別黙想会 伊従信子(ノートルダム・ド・ヴィ)

初日の夕食は済ませてご参加下さい。

1 1月 6日(金) 20時～ 8日(日) 16時 「いのりの道」

6. 祭日のミサに参加するために

【クリスマス】 チェックイン午後3時以降可、チェックアウト午前10時

2015年12月24日(木)～25日(金) 朝食《講話なし、夕食なし》

【聖週間】 チェックイン午後3時以降可、チェックアウト午前10時

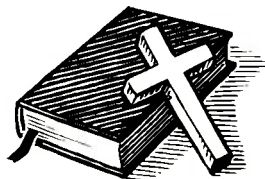
聖木曜日から復活祭まで通して参加可能です。またどの曜日からでも参加可能です。

2016年 3月24日(木)夕食～27日(日)朝食《講話なし、各食事つき》

New ! 男子跣足カルメル修道会のホームページ

<http://www.carmel-monastery.jp>

霊性センターニュース掲載の情報も載っています



電話でのお問い合わせは午前9時から午後4時45分までをお願い致します。
間違いを避けるためなるべく、FAX・はがき・Eメールで連絡して頂ければ幸いです。

〒158-0093 東京都世田谷区上野毛 2-14-25 聖テレジア修道院(黙想)

TEL 03-5706-7355 / FAX 03-3704-1789

E-mail: mokusou@carmel-monastery.jp



カトリック上野毛教会の保護者

カルメル山の聖母の祭日ミサ

【 7月16日(木) 】

< 6時30分ミサ >

< 10時ミサ・19時30分ミサ >

10時・19時30分ミサ後 スカプラリオ授与式 [聖堂]
当日お申し込みください

カルメル山の聖母を祝うミサ

【 7月19日(日) 10時30分ミサ 】

ミサ後 スカプラリオ授与式 [聖堂]

お祝い会 [信徒会館ホール]

スカプラリオをご希望の方は
当日お申し込みください

7時・8時半・18時のミサは通常の主日のミサ

カトリック上野毛教会
カルメル修道会上野毛修道院

*****日帰り黙想会*****

☆☆☆聖人たちをささえた神のことは☆☆☆

“聖書を知らないことは、キリストを知らないことだ”とヒエロニモは言いました。
第二ヴァチカン公会議においても次のように語られています。

「すべてのキリスト者は、しばしば聖書を読んでキリストを知るすばらしさを学ぶように強く特別に奨励する」(啓示憲章6章25)信じる人々を支えた神のみことばの光に照らされますように…。

場所：カルメル会聖テレジア修道院(黙想の家)

指導：福田正範神父

*企画の一日黙想会は、都合により、半日の日帰り黙想会に変更になりました。

午前中を個人黙想として静修をご希望の方は午前10時~ご利用が可能です。

昼食の準備のためあらかじめご連絡をお願い致します。

費用：午後からのご参加・・・¥2000、午前からのご参加・・・¥3500

日時：	7月10日(金)	午後1時30分~午後4時
	7月23日(木)	〃
	9月3日(木)	〃
	9月18日(金)	〃



お問合せ・お申込み

カルメル会聖テレジア修道院(黙想)

〒158-0093 東京都世田谷区上野毛 2-14-25

TEL. 03-5706-7355

FAX. 03-3704-1789 Eメール:

Eメール: mokusou@carmel-monastery.jp

2015年～2016年 黙 想 会 案 内

(宇治カルメル会)

【一般のための黙想】 ・ 1泊2日 (午後5時～午後4時)

2015年

9月5日(土)～6日(日) イエスと友情を生きる「聖テレジアに学びながら」
11月28日(土)～29日(日) 日常生活の中でイエスと共に生きる

中川博道 神父
中川博道 神父
中川博道 神父

2016年

1月9日(土)～10日(日) 私が洗礼を受けたこと

【聖書深読黙想会】

・ 1日 (午前10時～午後4時)

2015年

7月11日(土) 中川博道神父 11月14日(土) 中川博道神父
12月12日(土) 渡辺幹夫神父

中川博道神父
渡辺幹夫神父
渡辺幹夫神父

2016年

1月9日(土) 中川博道神父 2月13日(土)
3月12日(土) 渡辺幹夫神父

・ 水曜の黙想 (午前10時～午後4時)

2015年

7月15日(水) マリアと共にイエスを信じ愛する道
9月16日(水) キリスト教の霊性
10月14日(水) 聖テレジアの過ぎ越し
11月18日(水) 観想と活動
12月16日(水) 人となられた神にともなわれて

中川博道 神父
松田浩一 神父
渡辺幹夫 神父
松田浩一 神父
中川博道 神父

2016年

1月20日(水) 主の慈しみは、新たになる
2月24日(水) 生きていることの見直し
3月16日(水) キリストの過ぎ越し

渡辺幹夫 神父
中川博道 神父
松田浩一 神父

・ 四旬節の黙想 (午後5時～午後4時)

2016年 3月5日(土)～6日(日)

中川博道 神父

・ 待降節の黙想 (午後5時～午後4時)

2015年 12月13日(土)～12月14日(日)

松田浩一 神父

・ 聖テレサの黙想 (午後5時～午後4時)

2015年 9月30日(水)～10月1日(木)

伊従信子師

カルメル青年の集い

(午後5時～午後4時)

2015年 11月22日(日)～11月23日(月)

松田浩一神父

【一般のためのカルメルの霊性入門】

(午後5時～午前4時)

2015年

10月14(火)～10月15日(水) イエスのテレサ生誕500年閉会式

松田浩一神父

奉獻生活者の黙想 午後5時～午前9時

2015年 7月31日(金)～8月9日(日)

8月21日(金)～8月30日(日)

12月27日(日)～1月5日(火)

中川博道 神父
松田浩一神父
松田浩一神父

祭日のミサに参加するために

【クリスマス】 チェックイン午後4時以降可、チェックアウト午前11:30
12月24日(木)～12月25日(金) [講話なし、各食事つき]



—その他皆さまが企画なさったグループ黙想会、個人黙想も歓迎いたします。—

☆お申し込みは、電話でも受け付けておりますが、できるだけFAX、はがき、Eメールでお名前と連絡先を御記入の上、

お申し込み下さい。お電話は、なるべく午前9時～午後5時の間にお願いいたします。受け付けが休みの場合は、

その場ですぐにお返事できませんので、お手数でも後日改めてお問い合わせ下さる様をお願いいたします。

〒611-0002 京都府宇治市木幡御蔵山 39-12
宇治カルメル会 聖テレジア修道院 (黙想)
Tel 0774-32-7016, Fax 0774-32-7457
E-Mail: teresiauji@mountain.ocn.ne.jp

カルメル山の聖母の祭日：7月16日<木>

早朝ミサ：午前6時半～7時半

日中ミサ：午前10時～11時半



- (1) 午前10時よりミサ
- (2) 午前10時45分より<聖母のスカプラリオ>を説明
- (3) 望む方は、スカプラリオの着衣式を行ないます
- (4) スカプラリオの信心の更新（着衣された方のため）

*晩の祈りと聖体礼拝：午後5時より（聖体礼拝は5時45分まで）

場所：カルメル会宇治修道院（修道院聖堂）

司式：いずれもカルメル会士です。

【所在地・連絡先】 〒611-0002 京都府宇治市木幡御蔵山39-12
男子跣足カルメル修道会宇治修道院
TEL 0774-32-7456 FAX 0774-32-7457

- 【交通機関】① JR 奈良線 六地蔵駅下車 徒歩15分
タクシー乗り場あり。
- ② 京阪六地蔵駅 タクシー 7分
 - ③ 京都市営地下鉄 六地蔵駅 徒歩15分

聖テレーズの黙想会

2015年9月30日(月曜日)5時—10月1日(火曜日)4時

テレーズの命日(9月30日)、祝日(10月1日)に

テレーズを育てた両親の列聖を祝って神に感謝!

2015年を家庭の年と宣言された教皇フランシスコはこの秋にテレーズの両親マルタン夫妻を列聖すると発表されました。教会でははじめて、夫婦で聖人にあげられることになります。



うまずたゆまず 祈りましょう。

信頼は 奇跡をもたらします。

~~~~~

指導：伊従 信子

場所：カルメル会 聖テレジア宇治修道院(黙想)

611-0022 宇治市木幡御歳山39-1

持参するもの：新約聖書、『弱さと神の慈しみ』サン・パウロ社

『テレーズの約束』サン・パウロ社 (お持ちの方は)

申し込み先：fax 0774-32-7457, 電話 0774-32-7016

e-mail [teresiauji@mountain.ocn.ne.jp](mailto:teresiauji@mountain.ocn.ne.jp)

# 『社会人(働いている人)のための霊的同伴』

## — 日常のキリスト教霊性を求めて —

日々、現代社会で忙しく働いている皆様へ、この静かな一時を提供する企画です。この一泊の企画は、キリスト者の霊的・心的修養を目的として、**霊的同伴(スピリチュアル・コーチング)**を中心としながら、皆様のお手伝いをします。

### 【内容】

- この企画は、個人的霊的修養でもありますので、一般的な講話はありません。
- 各人の信仰からの日常生活を見つめる視点(霊的理解)を促進しますので、この静かな一時の中で短い個別同伴(一人30分)を行います。
- メソッドの一つとしてスピリチュアル・コーチングを適用して、参加者一人ひとりの視点を尊重します。
- キリスト者としてのパーソナルな統合はキリストのうちに行為されるものですので、信仰・希望・愛を培い、この三つの対神徳をベースにおいて行います。

【参加者人数】 6名

【開催日】 2015年 1月30日(金)～31日(土)

2月13日(金)～14日(土)

3月 6日(金)～ 7日(土)

5月 1日(金)～ 2日(土)

5月13日(金)～14日(土)

~~6月19日(金)～20日(土)~~

6月26日(金)～27日(土)変更

7月24日(金)～25日(土)

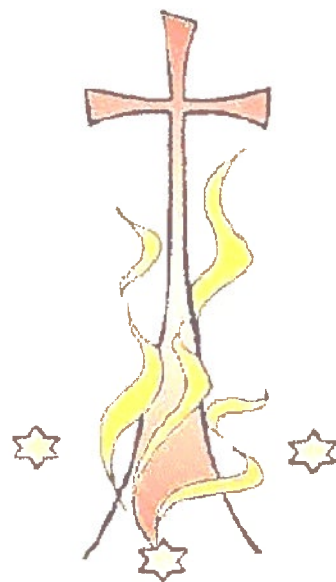
9月 4日(金)～ 5日(土)

10月 2日(金)～ 3日(土)

11月 6日(金)～ 7日(土)

12月 4日(金)～ 5日(土)

(毎回金曜日 20時(夕食なし)～土曜日 15時)



【参加費】 各回 6,500円

【霊的同伴】 松田浩一神父(カルメル会士)

【申込み方法】 参加希望者は、前日の木曜日 16:45 迄に、下記の聖テレジア修道院(黙想)へ FAX、はがき、Eメールで申し込んでください。

〒611-0002 京都府宇治市木幡御蔵山39-12

カルメル会宇治聖テレジア修道院(黙想)

Tel 0774-32-7016、Fax 0774-32-7457

E-Mail: [teresiauji@mountain.ocn.ne.jp](mailto:teresiauji@mountain.ocn.ne.jp)

# 《名古屋一日静修》

カルメルの霊性を生きる

—アビラの聖テレジア (1) —



1. 日時：9月19日(土)、11月23日(月)、  
12月23日(水)

場所：日比野教会聖堂、信徒会館

2. プログラム

10:00 導入の祈り(聖堂)

10:20 第一講話(信徒会館)

11:30 念祷① / 面談① (一人10分程度。赦しの秘跡も可)

12:00 昼食(沈黙)(信徒会館)

12:30 念祷② / 面談②

13:00 第二講話

14:00 念祷③

14:30 ミサ(聖堂)

15:30 茶話会(信徒会館)

16:00 終了の祈り

3. 参加費：1000円

昼食は各自持参。お茶はこちらで準備。

4. 指導司祭：九里 彰神父

## 霊性センター

毎月第一日曜日 三馬教会 聖堂

14:30～講話

15:30～ミサ（ラテン語聖歌）

## 土曜フレックスタイム静修

毎月第二土曜日 三馬教会 聖堂

13:30～聖書朗読 短い講話

14:30～ベネディクション 聖体顕示

15:30～聖体拝領

16:00～サルヴェ レジナ 終了

沈黙の祈りのうちに神様と語り、またご聖体のイエス様と  
共に静かに憩いの時を過ごし、心をリフレッシュしましょう。

## カルメル霊性センター



〒921 - 8162

金沢市三馬3丁目324番地

カルメル会 三馬修道院

三上 和久神父まで

Tel 076 - 244 - 7788

## 聖書深読センターのご案内

- 1 東 京・・・上野毛聖テレジア修道院（黙想）のご案内をご覧ください。
- 2 宇 治・・・宇治聖テレジア修道院（黙想）のご案内をご覧ください。

## 通信深読について

通信深読は、現在何箇所かで行われているようです。そのうち1箇所が新たに参加可能なので、紹介します。

### 1 朝日カルチャーセンターの通信講座

参加者は、「個人素読」（記号、全、所感、近況報告などを書くB5用紙）を提出。講師のコメントが記入されて返送される。参加者全員の「個人素読」と「素読表」そして解説が冊子になって送られる。

費用：6ヶ月 20,360円（4、7、10、1月に納入） 継続の場合は 19,130円

講師：九里彰師（奇数月） 今泉健師（偶数月）

問い合わせ：〒163-0278 東京都新宿区西新宿 2-6-1 新宿住友ビル

私書箱 21 号 朝日カルチャーセンター通信講座課

電話 03-3344-2527（直通）

- ◎ 聖書深読に関してご質問のある方は、下記聖書深読センター事務局 Srローザ  
にお問い合わせ下さい。



聖書深読センター

〒611-0002 京都府宇治市木幡御蔵山 39-12 カルメル会聖テレジア修道院（黙想）

所長：九里彰神父 事務局長：今泉健神父 連絡先：Srローザ

TEL 0774-32-7016 FAX 0774-38-2543

Eメール [carmis@mbox.kyoto-inet.or.jp](mailto:carmis@mbox.kyoto-inet.or.jp)

# 祈りと記念の手帖



わたしと神、わたしと大切な人々との出会いを記し、日々祈り、記念するための永年手帖

—推薦の言葉— Br.田中直 (聖パウロ修道会)

祈りによってさまざまな垣根が取り払われ、天と地が結びつき、人と人とが支え合うことができます。この手帖によって祈りの輪が広がっていくことを願っています。



\* Br.田中は、日々の出会いを記念した祈りを実践していらっしゃいます。

## 〔収録内容〕

- 九里彰「記念し、祈る」
- 曜日のないダイアリー：誕生日、結婚記念日、受洗日、命日などを自由に記入できます
- 年ごとの記録：10周年、金祝などの覚えに役立ちます
- 絵画（カラー）と解説：祈りに向かう心、空間をつくるために
- 祈りと祈りのヒント（カルメル修道会監修）：主の祈り、聖人たちの祈り、年始・年末の祈り（高橋重幸・晴佐久昌英）や「祈りの小道」、聖句、詩などを豊富に収録



オリエンズ宗教研究所 編  
ISBN 978-4-87232-085-5 C0016  
A5判・200頁・本体価格1600円+税

全国のキリスト教書店、Amazon、オリエンズ宗教研究所HPをご利用ください。

オリエンズ宗教研究所 〒156-0043 世田谷区松原 2-28-5

TEL : 03-3322-7601 FAX : 03-3325-5322

ホームページ : <http://www.oriens.or.jp/>

「カルメル」  
今日の霊性・夏号  
四旬節講話特集号



2015 夏 No.357

カルメル 2015 特集号

「現代における預言者 聖テレジア」  
—聖女のカルスマを次世代に伝える—

|              |                                 |               |                           |            |                           |                |                      |                  |                   |               |                    |    |
|--------------|---------------------------------|---------------|---------------------------|------------|---------------------------|----------------|----------------------|------------------|-------------------|---------------|--------------------|----|
| 神が慈しまれた道 (6) | 西行と芭蕉の霊性 —「宮河歌合」における「恋」と「願」 (8) | 福者 ルイとゼリー (3) | 聖性への招き 十字架の聖ヨハネに導かれて (11) | 風に吹かれて (4) | 修道生活の改革 —アピラの聖テレジアの理想 (2) | 聖テレジアによる祈り (3) | 今年の特集 聖テレジアと奉獻生活 (1) | アピラの聖テレジアの理想 (2) | 二十世紀のために生まれた聖テレジア | アピラの聖テレサの霊的母性 | キリスト者一致に対するテレジア的預言 | 目次 |
| 奥村一郎 45      | 田畑邦治 39                         | 中山眞里 32       | 編・訳 伊賀信子 26               | 原 造 23     | 九里 彰 3                    | ポーション・エルナンデス 9 | 須沢かおり 16             | 今泉 健 53          | 中川博道 39           | 九里 彰 26       | 松田浩一 2             |    |

|           |          |                  |          |          |          |          |
|-----------|----------|------------------|----------|----------|----------|----------|
| 須沢かおり (1) | 九里 彰 (2) | ポーション・エルナンデス (3) | 今泉 健 (4) | 中川博道 (5) | 九里 彰 (6) | 松田浩一 (7) |
|-----------|----------|------------------|----------|----------|----------|----------|

|         |         |         |          |        |
|---------|---------|---------|----------|--------|
| 今泉 健 53 | 中川博道 39 | 九里 彰 26 | 片山はるひ 13 | 松田浩一 2 |
|---------|---------|---------|----------|--------|

購読のご案内

雑誌「カルメル」はどなたでもご購入できます。(カトリック書店：サンパウロ、ドンボスコ書店等) 定価は、一冊460円です。

- 送付ご希望の方は、600円【内訳 460円 (+送料140円)】を下記へお振込み下さい。
- まとめてご購入希望の方は、年会費(年5冊：春夏秋冬号・特集号【460円×5=2,300円】+送料【700円】計3,000円)を下記へお振込み下さい。

郵便振替：00190-4-195457 跣足カルメル修道会  
お問い合わせは、事務担当竹田まで。

TEL (03) 5706-8356



中川博道 神父様の  
待望の新刊が出来ました！！

# 存在の根を探して

6月23日発売

## ●イエスとともに

天地創造、カインとアベルの物語など、聖書に記された人間の姿、そして十戒の現代的意義や主の祈り、イエスの生き方をていねいに見ていくことを通して、心の奥底での神との生きた出会いへと読者をいざなう。カルメル会での40年にわたる観想生活から生まれた本書は、カルメルの靈性に触れ、味わう入門書として最適です。

### 主な内容

- ・ 生きることの原点
- ・ 「聴く」という生き方の意味
- ・ 私とは誰？——自らの存在に聴き入る
- ・ 現代という荒れ野を歩む道
- ・ 生きるイエスを捜し続ける教会
- ・ 「心の深い深い、いちばんの奥底」へ



B6判・1700円+税 ISBN978-4-87232-090-9

オリエンス宗教研究所 〒156-0043 世田谷区松原 2-28-5

TEL : 03-3322-7601 FAX : 03-3325-5322

全国のキリスト教書店、Book Web、オリエンス宗教研究所HPもご利用ください。



# 諸所の企画案内



心のいほり 内観黙想センター  
真命山 霊性交流センター  
リーゼンフーバー神父キリスト教講座  
ノートルダム・ド・ヴィ  
ノートルダム教育修道女会・唐崎修道院  
サダナ瞑想  
慈しみ深き会

※注)

諸所の企画記事は集約・編集しています。  
記載には注意を期しておりますが、  
詳細は各問い合わせにご紹介下さい。  
よろしくお願い致します。



## 諸所の黙想企画ご案内

※各黙想内容・日程等、詳細については各問い合わせ先に、ご確認ください。

### 心のいほり 内観黙想センター

先の予定表と若干変わっていますので、開始の曜日や時間などにご注意ください。

◎参加費用は、6泊7日ですべてを含み、関西地区の会場は6万円、他地区は6万5千円です。

◎Eメール・ファックス・手紙でセンターに問い合わせてください。電話では取り次いでおりません。

申し込みは、会場予約準備がありますので、10日前迄に完了をお願いします。

◎〒572-0001 大阪府寝屋川市成田東町3-27「心のいほり・内観瞑想センター」 藤原神父  
FAX 072・802・5026 Eメール [fujinao1944@nifty.com](mailto:fujinao1944@nifty.com)  
<http://www.com-unity.co.jp/naikan> (ホームページ・アドレス)

◎予約の決まった後に、会場までの詳しい地図などの書類をお送りします。

(★)印の会場では、藤原神父以外の司祭も面接同行する可能性があります。

6泊7日 開始日午後2時より 終了日午後2時まで

#### 2015年予定

- K4 09/19 (土) -09/25 (金) 東京・小金井・聖霊会  
N3 10/27 (火) -11/02 (月) 滋賀唐崎・ノートルダム  
T2 11/17 (火) -11/23 (月) 兵庫西宮・トラピスチヌ  
K5 12/12 (土) -12/18 (金) 東京・小金井・聖霊会

#### 2016年予定

- N1 02/26 (金) -03/03 (木) 滋賀唐崎・ノートルダム  
N2 05/07 (土) -05/13 (金) 滋賀唐崎・ノートルダム  
K1 06/13 (月) -06/19 (日) 東京・小金井・聖霊会  
K2 10/01 (土) -10/07 (金) 東京・小金井・聖霊会  
N3 10/20 (木) -10/26 (水) 滋賀唐崎・ノートルダム  
K3 12/05 (月) -12/11 (日) 東京・小金井・聖霊会

## 真命山 2015年 — 祈りの集いのご案内

祈りの集い（午前10時～午後3時）

年間のテーマ

### 「イエス、マリア、ヨセフが祈られた詩編」



- 1月 8日 「いと高きところには栄光、神にあれ、地には平和、御心に  
適う人にあれ。」（ルカ 2,14）詩篇 1. 34. 117. 19. 150
- 2月 12日 「時は満ち、神の国は近づいた。悔い改めて福音を  
信じなさい（マルコ 1,15）詩編 51. 21
- 3月 12日 過越祭のハレルの詩編：113.117.136
- 4月 9日 復活祭の詩編：2.110.118
- 5月 14日 詩編 45.89（ルカ 2,46-55）
- 6月 11日 詩編 145.146.148
- 7月 9日 詩編 126.130
- 8月 休み
- 9月 10日 詩編 23
- 10月 8日 詩編 42
- 11月 12日 詩編 137.147.150
- 12月 10日 詩編 来られる主を迎えて：72.96（ルカ 1,68）

指導者

フランコ・ソットコルノラ神父

（真命山院長）

ダニエレ サルティ・サルトリ

神父

Sr.マリア デ・ジョウルジ

申し込み先

865-0133

熊本県玉名郡和水町1391-7

真命山諸宗教対話・霊性交流センター

TEL 0968-85-3100

Fax 0968-85-3186

E-mail: shinmeizan@chive.ocn.ne.jp

www.shinmeizan.org

個人またはグループでの黙想会や研修会も歓迎いたします。  
（要予約）

## リーゼンフーバー神父講座・集いの案内 2015年～2016年

### ●キリスト教入門講座

金曜日 18時45分～20時30分

聖イグナチオ教会信徒会館3階アルベホール。  
どなたでも。聖書に基づきキリスト教の基本テーマを取り扱います。

### ●キリスト教理解講座

毎月第1・第3・第5火曜日 18時45分～20時30分

聖イグナチオ教会信徒会館3階アルベホール  
キリスト教の基礎知識を持っている方。信仰理解と信仰生活の深まりを目的とし、キリスト教の中心的テーマを探求します。

### ●土曜アカデミー 以下(予定)の土曜日、

9時30分～12時00分、岐部ホール4階404、  
各時代の文書を読んで、思想史一般とキリスト教哲学・神学の相互関係を考察します。キリスト教思想史に関心を持っている方、プログラムの詳細は別途公表。

夏学期: 7/11, 7/25, 9/5, 9/12, 9/19

冬学期: 10/10, 10/17, 10/24, 10/31, 11/7,

11/14, 11/21, 12/5, 12/19,

2016年 1/9, 1/16, 1/23, 1/30, 2/6

### ●上智大学公開講座春期 2015年度

〈上智大学中世思想研究所企画〉

実践哲学の基礎づけー古代・中世・ルネサンスを通じてー

曜日・時間 指定水曜日:19:00～20:30

講師名:リーゼンフーバー, クラウス

テキスト:『西洋古代・中世哲学史』リーゼンフーバー, クラウス著(平凡社)

問合せ先:上智大学 03-3238-3552

日程 / カリキュラム

07/01, 07/08, 07/15

詳細は以下のサイト等より御願ひ致します。

<http://imdthght-sophia.sakura.ne.jp/?news>=上智大学公開学習センターでの当研究所企画講座

### ●ミサ

水曜日 17時10分～18時 上智大学内クルトゥルハイム1階右小聖堂。どなたでも。但し祝日、8月全休。12月30日は休み。

### ●黙想

・「会社帰りの黙想」毎月第2・第4火曜日 18時45分～20時 聖イグナチオ教会マリア中聖堂

どなたでも。但し祝日、4月28日、8月11日、12月22

日は休み。8月25日は、クルトゥルハイム聖堂

・「お昼の黙想」毎月第1・第3火曜日 10時40分～12時 聖イグナチオ教会マリア中聖堂

どなたでも。但し祝日、8月4日は休み。

・「水曜日ミサ後の黙想」18時～18時30分 上智大学内クルトゥルハイム1階右、テレジア小聖堂。

どなたでも。但し祝日、8月全休、12月30日は休み。

・「通う霊操」8月22日(土)～8月30日(日)18時～20時45分 上智大学内クルトゥルハイム聖堂

・「黙想会」

7月4日(土)10時～5日(日)14時(上石神井)、

11月28日(土)10時～29日(日)14時(上石神井)。1泊2

日。7,000円程度。事前申込み要。

[関西]9月26日(土)13時30分～27日(日)15時(宝塚市)。

### ●祈りの集い

・下記の土曜日 13時30分～16時 上智大学内S.J.ハウス、第5会議室。講話、黙想、ミサがあります。

7月11日、8月8日、9月5日、10月10日、11月7日、12月5日、2016年1月9日、2月13日、3月5日

・ロザリオの祈り(上記同日のミサに続いて)16時10分～16時50分

### ●坐禅会

・水曜日、木曜日 17時45分～20時10分

上智大学内クルトゥルハイム1階左の部屋。3回坐り、間に講話。但し祝日、4月27、30日、7月30日、8月全体、11月2日、12月24、28、31日、2016年3月24日は休み。

### ●坐禅接心

8月8日(土)20時20分～15日(土)8時30分

9月19日(土)20時20分～22日(火)8時30分

10月31日(土)20時20分～11月3日(火)8時30分

秋川神冥窟。1泊2、400円(+暖房費)程度。事前申込み要。

[関西]5月9日(土)13時30分～10日(日)15時、7月30日(木)17時45分～8月5日(水)15時。

### ●アガペ会

下記の日に説明会(13時30分)と集い・ミサ(14時～18時)。上智大学内S.J.ハウス、第5会議室。

10月25日(日)、会員未加入の方にもオープン集い。13時30分から。岐部ホール4階、404。

※リーゼンフーバー神父様HPアドレス [http://www.jesuits.or.jp/~j\\_riesenhube/](http://www.jesuits.or.jp/~j_riesenhube/)

## リーゼンフーバー神父キリスト教入門・理解講座

### リーゼンフーバー神父キリスト教

入門講座 2015年

日時 毎週金曜日

18時45分～20時30分

- 7/3 イエスのたとえ話—神の働きを語る  
7/4-5 ●黙想会(上石神井)  
7/10 イエスの人間関係—罪人と弟子と共に  
7/17 イエスは誰か—イエスの自己理解  
7/24 最後の晩餐—自分を与えるイエス  
7/25 ◆感謝のミサ(14時、上智大学内クルトゥルハイム2階、80人限定)  
7/31 ○休み

### 夏季

- 08/07 イエスの受難—その史実と意図(上智大学内クルトゥルハイム2階)  
08/14 ○休み  
08/21 イエスの死—その救済的意義(上智大学内クルトゥルハイム2階)  
08/22-30 ●通う霊操(18時-20時45分)(上智大学内クルトゥルハイム2階)  
08/28 聖書のイエス像—ヨハネとパウロの見たイエス(上智大学内クルトゥルハイム2階)  
09/04 イエスの復活—今に生きるイエス  
09/11 聖霊—神の愛に導かれる  
09/18 祈りの本質とさまざまな祈り方—神と関わる  
09/25 洗礼と堅信—イエスに結ばれて生きる  
10/02 教会の成立と意味—イエスを中心に集う  
10/03-04 ●黙想会(東村山)  
10/09 人間としてのイエス—新しい人間像の基礎づけ  
10/16 御子としてのイエス—イエスの神との関係  
10/23 父と子と聖霊—神の生命に与る  
10/30 信仰の決断—支えられて生きる  
11/06 ミサ祭儀—神への奉仕と生活の糧  
11/13 自己実現と神の意志—生き方の規範  
11/20 人間の弱さ—罪とは何か

### リーゼンフーバー神父キリスト教

理解講座 2015年

日時 第1・3・5火曜日

18時45分～20時30分

### [倫理的行為]

- 7/4-5 ●黙想会(上石神井)  
7/7 性格の形成—自己受容と善への憧れ  
7/21 人間の弱さ—罪とゆるし  
7/25 ■感謝のミサ(14時、上智大学内クルトゥルハイム2F、80人限定)  
8/4 ○休み  
08/18 有意義に生きる基盤—信仰と希望(上智大学内クルトゥルハイム2F)  
08/22-8/30 ●通う霊操(18時-20時45分)(上智大学内クルトゥルハイム2F)

### [根本的態度]

- 09/01 唯一の掟—愛による完成  
09/15 基本的な徳—判断力・勇気・節制  
09/29 共同存在—共通善・正義・奉仕  
10/3-4 ●黙想会(東村山)  
10/06 個人の道—自己の課題と聖霊の導き  
10/20 対人関係と友愛—恵みである他者  
11/17 身体と生命—性と倫理  
11/28-29 ●黙想会(上石神井)

### [日常生活]

- 12/01 家庭と独身生活—与えられた招きの発見  
12/12 ■クリスマス・パーティ(16時ミサ、17時30分パーティ、岐部ホール4F、要申し込み)  
12/15 仕事と祝い—能力の活性化と人生の実り

### 《場所・お問い合わせ》

聖イグナチオ教会(四ツ谷駅前)

信徒会館3階

アルペホール TEL 03-3263-4584

クラウス・リーゼンフーバー神父

〒102-8571 千代田区紀尾井町7-1

上智大学SJハウス

電話 03-3238-5124(直通) -5111(伝言)

Fax 03-3238-5056

## いのちの泉へ（ノートルダム・ド・ヴィ）

### いのちの泉へ

#### すべての人のための祈りの集い

カルメルの霊性に学びつつ、  
キリスト者としての霊性を養うための  
講話と沈黙の祈りで構成された集いです

東京

7月18日(土)「平凡なナザレの生活」

8月 休み

午後2時 ～ 午後5時30分位まで

講話・祈り・質問・分かち合い

講話 伊従信子

\*\*\*\*\*

参加費 200円

お申し込み・問い合わせ：ノートルダム・ド・ヴィ

〒177-0044 練馬区上石神井4-32-35

TEL(03)3594-2247 FAX(03)3594-2254

e-mail [notredamedevie.japan@gmail.com](mailto:notredamedevie.japan@gmail.com)

\*\*\*\*\*

京都

7月4日(土) 13時半～15時 京都NDV 担当：伊従信子

『神はわたしのうちに、わたしは神のうちに』聖母の騎

士聖母文庫7

三位一体のエリザベット：神の現存

7月7日(火) 13時半～15時半 河原町カトリック会館3階

\* 『いのりの道をゆく』 担当：伊従信子

\* 祈り：「都の聖母」聖堂にて 15～15時半

7月18日(土) 13時半～15時 京都NDV 担当：中山真里

主日の福音の分かち合い

京都NDV お問い合わせ ノートルダム・ド・ヴィ

〒603-8378 京都府京都市北区衣笠御所ノ内町4

TEL・FAX(075-462-3525)



## ノートルダム・ド・ヴィ特別プログラム

### 『今、喜びの道を歩きだそう！』

～アピラのテレサと

幼きイエスのマリー・エウジェンヌ師～



わたしたち一人ひとは、毎日の生活のなかで信仰をどのように生きればよいのかという問いを、大なり小なりかかえて過ごしています。

今年、アピラのテレサ生誕 500 年の年にあたり、聖女からのメッセージに耳を傾けながら、この問いにあらためて向き合いたいと思います。そのために、テレサの精神を現代に伝えた、幼きイエスのマリー・エウジェンヌ師を手がかりに、この困難な時代をキリスト者として生きるヒントを、ごいっしょに探りましょう。

- 日 時：2015年9月23日(水) 午前10:30～午後4:30頃(受付は10:00から)
- 場 所：ノートルダム・ド・ヴィ(東京・上石神井)
- 参加費：500円(午前のみ・午後のみ参加の方は200円)
- 申し込み：ハガキ、電話、Fax、メールでお申し込ください。

〒177-0044 練馬区上石神井4-32-35 ノートルダム・ド・ヴィ

Tel. 03-3594-2247 Fax:03-3594-2254

E-mail: notredamedevie.japan@gmail.com

#### ■プログラム(予定)

午前10時半頃より

- ・第1講話(午前) 「アピラのテレサからのメッセージ」…片山はるひ
- ・沈黙の祈り、昼食 \*昼食は軽食を用意いたします

午後2時頃より

- ・第2講話(午後) 「<sup>コミュニオン</sup>〈交わり〉の〈あかし人〉となるために」…伊従 信子
- ・質問の時間 等。

Père Marie-Eugène de l'Enfant-Jésus 1894-1967



## ノートルダム教育修道女会・唐崎修道院

◎ 所在地： 〒520-0106 滋賀県 大津市 唐崎 1丁目 3-1  
Tel： 077-579-7580  
Fax： 077-579-3804  
E-メール： karainorind92@mbe.nifty.com

◎ 交通： JR 京都駅から湖西線で三つ目「唐崎」下車。  
琵琶湖の方へ徒歩 約 13 分

◎ 日程：

A. 8日間の個人指導による黙想

初日は、17時のミサで始まり、最終日は昼食で終わります。

- ① 2015年 4月29日(水)～ 5月7日(木)
- ② 8月14日(金)～ 8月22日(土)
- ③ 10月26日(月)～ 11月3日(火)
- ④ 12月27日(日)～ 2016年1月4日(月)

B. 祈りの体験：週末3日間 (金曜日の夕食～日曜日の昼食)

【神との親しさの中で日常を生きるために】

- ① 2015年 2月6日(金)～ 2月8日(日)
- ② 2月27日(金)～ 3月1日(日)
- ③ 3月20日(金)～ 3月22日(日)
- ④ 6月19日(金)～ 6月21日(日)
- ⑤ 7月17日(金)～ 7月19日(日)
- ⑥ 9月18日(金)～ 9月20日(日)
- ⑦ 11月27日(金)～ 11月29日(日)

C. 講話 黙想 (奉獻生活者のため)

2015年 5月25日(月)～ 6月2日(火) 澤田豊成 師 (パカ会)

◎ 対象： 信徒、修道者、司祭、洗礼を受けていない方、どなたでも参加できます。

◎ 霊的同伴者： 司祭、ノートルダム教育修道女会会員、その他

◎ 申込み： 1) 名前 2) 住所 3) 電話番号 4) 希望日程(番号) を書いて  
郵送、または、Fax で「黙想係」松本佳子 へ申し込んでください。  
唐崎修道院への案内地図の必要な方は、その旨を書き添えて下さい。

いずれの場合も、10日前までに申し込んでください。 先着順 11名です。

◎ その他： 司祭同伴の黙想会やグループ研修会のために修道院をご利用なさりたい方はご  
相談ください。(但し、上記の日程と8月1日～8月9日を除きます。)



## サダナ瞑想 ～東洋の瞑想とキリスト者の祈り～

詳細、補充情報はホームページをご覧ください。 <http://sadhana.jesuits.or.jp/>

★申込み受付・開始日の8日前で締切ります

| コース                           | 日時<指導者>                                                        | 指導者                      | 開催場所                                                                                                                     | 申込み                               |
|-------------------------------|----------------------------------------------------------------|--------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------|
| サダナ I                         | 7/17(金)17:30-<br>7/20(日)16:00                                  | Fr植栗                     | カンディダ・マリア・ハウ<br>ス・イエズス孝女会<br>(葉山町)                                                                                       | 若山美知子※<br>Tel&Fax<br>03-5802-3844 |
| サダナ I                         | 9/4(金)18:00-<br>9/6(日)17:00                                    | Fr.マルコ・<br>アントニオ<br>Fr植栗 | 聖ドミニコ女子修道院(仙台市青葉区)<br>※申込み:(郵送または FAX)<br>〒仙台市宮城野区東仙台 6-8-25<br>オタワ愛徳修道院 Sr 内原わさ<br>FAX022-293-3675<br>※開催場所と申込み先が異なります。 |                                   |
| フォロー<br>アップ                   | 9/13(日)<br>9:30-17:00                                          | Fr植栗                     | ニコラバレ修道院1F<br>(四ツ谷)                                                                                                      | 若山美知子※                            |
| サダナ II                        | 9/19(土)17:30-<br>9/23(水)16:00                                  | Fr植栗                     | 汚れなきマリア修道会・<br>町田黙想の家(町田市)                                                                                               | 同上                                |
| 入門A                           | 9/27(日)<br>9:30-17:00                                          | Fr植栗                     | ニコラバレ修道院1F<br>(四ツ谷)                                                                                                      | 同上                                |
| 自己を知る<br><br>*1泊2日×<br>2=合計4日 | 10/3(土)9:30-<br>10/4(日)17:00<br>10/11(日)9:30-<br>10/12(月)17:00 | Fr植栗                     | 小金井聖霊修道院<br>(小金井市)                                                                                                       | 同上                                |
| サダナ I                         | 10/23(金)17:30-<br>26(月)16:00                                   | Fr植栗                     | 女子御受難会修道院<br>(宝塚市)                                                                                                       | 大倉元子<br>Tel<br>078-811-2706       |

※不在の場合は、渡辺由子 Tel & Fax : 042-325-

7554



◆サダナ I (入門A. B. C) = 体の営みと想像とを生かして祈りを深め、「神との出会い」と「心の解放」をめざす。

◆サダナ II = I をいっそう深める。身体・感・想像・自分史が、神との交わりのもと統合される。

◆フォローアップ = サダナ I を終えた方。

# 祈り：講話と実践

沈黙の内に神を求めて  
— 観想の祈りへの道 —

場所：イグナチオ教会岐部ホール404号室 14:00～16:00  
12月のみマリア聖堂（ミサ有り）

7月9日（木）『靈魂の城』第六の住居・第十一章  
9月10日（木）、11月12日（木）  
12月10日（木）

アビラの聖テレジアの「靈魂の城」を読んだ後、一緒に沈黙で祈ります。  
すでに大分読み進んでおりますが、途中からの参加もかまいません。

\* 参加費無料（献金歓迎）

\* 問い合わせ先：042-473-6287 篠原



九里彰神父（カルメル会日本管区長）

※各黙想会内容・日程等、詳細については各問い合わせ先に、ご確認ください。



# 奥村一郎選集

## 追悼 奥村一郎師

その時と場所で与えられた役割を  
誠実に果たし続けた師が遺す珠玉の名編

四六判・上製・平均 240 頁・各巻とも **本体 2000 円**+税

日本の文化の中で福音が豊かに開花することを求めて祈り、思索した奥村一郎師。本選集は半世紀にわたるその膨大な著作、講演等の記録から特に重要と思われるものを選び、テーマ別に集成したものです。豊かな霊性をたたえた祈りの人であり、東西霊性交流など宗教対話のダイナミックな推進者。静謐さと情熱を併せ持つ著者が紡ぎ出してきた言葉の数々は、神と人に真摯に向かう姿を私たちに示してくれます。ときにユーモアを交えたその視座は、日本における福音宣教を願うすべての人々にとっての道標となることでしょう。

第1巻



### 慈悲と隣人愛 解説・西村恵信

日本文化に影響を与える仏教の光を当てつつ聖書を読み、キリスト教の本質理解に近づく。カトリックから禅へ/小事と瑣事/禅とキリスト教における靈的修行

第2巻



### 多文化に生きる宗教 解説・橋本裕明

宗教対話と霊性交渉から得られた柔軟な視点から、日本での新たな宣教の可能性を示す。大いなる贈け—宗教対話/日本人とキリスト教—遠藤文学の魂

第3巻



### 日本の神学を求めて 解説・小野寺 功

日本の地に根ざす神学、その開花の可能性を福音の原点である相互愛から問いかける。日本の神学—根源への問い/相互愛/「信ずる」と「愛する」/新しい掟

第4巻



### 日本語とキリスト教 解説・阿部仲麻呂

関係性を重視する表現が中心となる日本語を手がかりに、ことばと信仰の関係を再考する。日本人の心とその精神構造/「ことば」から「みことば」へ/聖書と翻訳

第5巻



### 現代人と宗教 解説・鶴岡實雄

宗教不在とされる現代、人々が直面する課題にキリスト教はどう向き合っているのか。現代人とキリスト教/偶像の喪失/屈辱/「新しい人」としての真人

第6巻



### 永遠のいのち 解説・八木誠一

生と死、罪と恵み、正義と愛—人間の栄光と悲惨を見極め、永遠のいのちへの道を探る。嬰兒復帰/人間の栄光と悲惨/神は死せり/十字架の秘義/人間と世界と神

第7巻



### カルメルの霊性 解説・高園泰子

愛ゆえにすべてを、命さえも失ったイエスを追い求めるカルメル。その霊性の根源に迫る。アビラのテレジア/十字架のヨハネ/小さきテレーズと東洋的霊性

第8巻



### 神に向かう〈祈り〉 解説・高橋重幸

東西における祈りの方法論を丹念にたどりつつ、キリスト教の祈りの本質を明らかにする。考える祈り、思う祈り、愛する祈り/現代における祈りの指導者/祈りとは何か?

第9巻



### 奉獻の道 解説・宮本久雄

すべての人にみずからを与えつくす奉獻生活を通して、人間そのものの神秘を見つめる。清らかな矛盾/世を変えるパン種として/清貧の誓願/現代に生きる修道者の霊性

カルメル会会員、在俗会メンバーの方々には特別割引があります。直接お問い合わせ下さい。

**オリエンズ宗教研究所** 〒156-0043 世田谷区松原 2-28-5

**TEL : 03-3322-7601 FAX : 03-3325-5322**

ホームページ : <http://www.oriens.or.jp/>

# 霊性センターニュース

## \* 年間購読(郵送)のご案内 \*

ご郵送は、基本的に申し込み翌月から12月までとなります。  
例：6月申込の場合は、7月号～12月号（但し8月号休刊を除きます）  
この場合の献金については、ご希望の月数×250円程度となります。

申込先：下記の霊性センターニュース事務局へ、  
氏名、郵便番号・住所、電話、Fax等をご記入の上、  
郵送か下記のe-mailでお申し込みください。

《郵送でのお申し込み》

〒158-0093 東京都世田谷区上野毛2-14-25  
カルメル会上野毛修道院 「霊性センター事務局」

《e-mailでのお申し込み》

[tokyo@carmel-monastery.jp](mailto:tokyo@carmel-monastery.jp)

献金振込先：霊性センターニュースの最終ページをご参照下さい。

\*何かご質問等があれば、下記にご連絡ください。

Tel: 03-3704-2171 Fax: 03-3704-1789

**New!** 男子跣足カルメル修道会のホームページ

<http://www.carmel-monastery.jp>



男子跣足カルメル修道会  
Order of Discalced Carmelites

霊性センターニュース掲載の情報も載っています

## 『霊性センターニュース』お持ち帰りの方へ

一冊 100 円程度の献金をお願い致します！

### 「霊性センターへの献金」のお願い

「霊性センターニュース」は、現在、上野毛霊性センターで編集、印刷、製本、発送等を行っておりますが、経費はすべてカルメル会で負担しております。読者の皆様のご理解とご協力をいただければ、幸いです。

献金される方は、下記の口座へお振り込みください。

郵便番号口座： 00110-4-297250

加入者名： カルメル霊性センターニュース

なお通信欄へは「献金」とご記入ください。



### 編集後記

先日、某女子カルメル会を司牧視察した。その時、禁域内の視察もし、脳梗塞で寝たきりとなった某姉妹の病室を訪問した。80代半ば、言葉も少し不自由になっているようであった。

「お久しぶりです。いかがですか」とたずねると、「ケガ・・・」と答えられた。「えっ！怪我をしたんですか」と言うと、また「ケガ、ムニャムニャ」と言う。「どこか怪我したのかなー」と、どうも要領を得ない。困惑して、横に立っている看護係の姉妹を見上げると、笑いをこらえるように、小さな声で一言。「ケガナイ」。

そう言えば、この一年、頭の毛が急激に淋しくなっていた。

あなたがたの髪の毛までも一本残らず数えられている。だが、その一本さえ、あなたがたの父のお許しがなければ、地に落ちることはない。(マタイ 10・29-30 異本)

私の場合、御父は、大分お許しになったようである。

(P.九里)



\*\*\*\*\* 8月休刊のお知らせ \*\*\*\*\*

「霊性センターニュース」は、8月(号)休刊(7月送付無し)となります。  
9月号は、8月下旬発送予定です。ご了承下さい。



.....製本／発送のご協力お願い.....

「霊性センターニュース」の製本／発送は、基本的に毎月最終週の火曜日に行われます。  
作業はホッチキス綴じと購入者様への発送のみです。皆様のご協力をお待ちしております。  
初めての方、不定期参加の方も、大歓迎です。お茶とお菓子の時間もありますよ♪

「9月号」製本日

**8月25日(火)** 上野毛教会信徒会館ホール1階

午後1時半頃から～

※参加ご希望の方は、念のため、製本日をご確認下さい。霊性センター係

TEL 03・3704・2171